

GUJO2020 ~この一年を振り返って~

世界規模で影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、その猛威が衰えることなく2020年が終わりました。そんな2020年でしたが、広報郡上では、コロナに関するお知らせはもちろんのこと、行事やイベント、叙勲、大臣表彰の受賞、100歳長寿者褒賞など、多くの出来事・話題を掲載させていただきました。今月号では2020年の郡上市の主な出来事を振り返ります。なお、この記事は、令和2年12月15日現在の行事から選定したものです。

④ 自然災害の恐ろしさが目の前に。 大和町奥田洞谷土砂崩壊



① 日置市長4期目・郡上市議会新体制 スタート!



③ 八幡市街地の歴史や魅力を広く 発信し、町並みの保存、景観の 維持を促進。 郡上八幡まちなみ交流館 開館



② 郡上おどり・白鳥おどり・白鳥 の拝殿踊り全日程開催見合わせ。 ライブ配信等でコロナ禍の 夏を乗り越える



⑤ 郡上市観光連盟の日本版DMO候補 法人登録および国際競争力の高いス ノーリゾート形成促進事業支援対象 地域採択、スポーツコミッション設 立など「観光立市郡上」を更に推進



① 3月29日に行われた「郡上市長選挙」「郡上市議会議員選挙」は、日置市長が無投票での4選を決め、郡上市議会議員は選挙の結果、現職13人と新人5人の当選が決まり、新たなスタートを切りました。

② 新型コロナウイルスの影響により、各踊りの全日程が開催見合わせとなりました。コロナ禍に負けず踊りの伝統を繋ぐよう、「郡上おどり」はライブ配信、「白鳥おどり」「白鳥の拝殿踊り」は動画配信など、新たな取り組みがありました。

③ 郡上八幡まちなみ交流館が3月に竣工、6月に開館式典が行われました。当館は、伝統的建造物群保存地区を主に八幡市街地の歴史や魅力、観光情報を広く発信する施設となっています。

④ 7月には、大和町奥田洞谷の山林で土砂崩壊がおきました。奥田洞谷は平成30年7月豪雨の際に土砂災害が発生しており、今回、予兆が見られたことで、土砂災害警戒区域内の住民に避難指示を発令し、崩壊前には避難が完了していたため、人的、物的被害はありませんでした。

⑤ 郡上市観光連盟が観光庁より日本版DMO候補法人に登録され、アウトドア郡上のブランド化などを重点課題として取り組みます。加えて、国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業支援対象地域への採択や、スポーツコミッションの設立など、郡上の資源を活用できる環境整備を行い「観光立市郡上」の更なる発展を目指します。

⑨郡上の観光資源である郡上八幡城を生かした観光まちづくりについて考える「3都市4城連携協定 郡上八幡城ゆかりの城シンポジウム」開催



⑧「ごみゼロの日」初の実施。「郡上でやっちゃん環境シンポジウム」開催など郡上での環境保全を考える取り組みを強化



⑥30年余の年月を経て遂に開通！国道156号大和改良



⑩古今伝授の里に新たな発見！「篠脇城跡試掘確認調査」



⑦道の駅や地域の経済活性の新たな可能性 フェアフィールド・バイ・マリオット・岐阜郡上 開業



コロナ禍の1年。みなさんからのさまざまなご支援やご寄附をいただき、対策を進めることができました。

市のコロナ対策事業の紹介(抜粋)

- 郡上市コロナ対策本部立ち上げ
- 郡上市飲食・宿泊プレミアム付商品券
- 郡上市観光事業者経営安定化補助金
- 子育て世帯への臨時特別給付金
- 郡上市高校生・大学生等就学応援給付金制度
- 郡上市得・得・得プレミアム付商品券
- 新型コロナウイルス対策赤ちゃん応援特別事業

など



マスクや消毒液などコロナ対策の資材等を多くの事業者および団体のみなさんからいただきました。誠にありがとうございます。

⑥事業化から30年余の年月をかけ、一般国道156号大和改良の全線が開通しました。大和町剣から白鳥町中津屋までの間は、見通しが悪いなど通行に支障をきたしていました。バイパスの開通により、安全な通行が確保されることとなりました。

⑦道の駅併設の民間ホテルが道の駅古今伝授の里やまとの隣にオープンしました。ホテル内には入浴施設やレストランがないことから、地域の店舗利用が促進され、経済の活性化に繋がることが期待されます。

⑧市では、生活環境等の保全に向けた取り組みを進めており、4月にプラスチック製容器包装は可燃ごみとして出せるよう、ごみの出し方を変更。5月30日を「ごみゼロの日」として市民のみなさんへ清掃活動と呼びかけました。また、「環境シンポジウム」を開催し、身近なことからできる環境保全を考えるきっかけを作りました。

⑨「3都市4城連携協定」を締結している尼崎市、大垣市、郡上市。今年度は、郡上市にてシンポジウムを開催しました。お城を生かした観光とまちづくりの推進について3市の市長が話し合いました。

⑩令和元年度から4年をかけて行う篠脇城跡・東氏館跡の総合調査について、本年度の篠脇城跡試掘確認調査では、建物の痕跡を示す礎石、土塁の様子、石垣や多くの陶磁器の破片が確認され、篠脇城の歴史を探る大きな手掛かりが発見されました。